

## 令和4年度 第2回北名古屋市男女共同参画審議会 結果概要

- 1 日時 令和4年12月27日(火) 午後3時30分～午後4時30分
- 2 会場 北名古屋市役所西庁舎4階 大会議室
- 3 出席者 16人  
委員9人(3人欠席)、  
市長、総務部長、事務局(総務課長以下5人)
- 4 傍聴人 なし
- 5 第2次北名古屋市男女共同参画プランに係る中間見直しの諮問  
○市長から会長へ諮問
- 6 議題
  - (1) 北名古屋市男女共同参画意識調査報告書について
  - (2) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン中間見直し 素案について
  - (3) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン中間見直し  
素案に関する庁内意見聴取について
  - (4) その他
- 6 会議概要
  - 議題(1) 北名古屋市男女共同参画意識調査報告書について  
○事務局から資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料1-4に基づき説明  
<委員>  
資料1-1問18のドメスティックバイオレンスについて、DV被害件数は全国的に増加傾向にあり、かつ、コロナ禍で更に増加しているが、北名古屋市では各項目ごとでDV被害が低下している。この結果についてどのように考えているか。  
<事務局>  
前回と質問を少し変更したため、数値に誤差が生じたことが考えられる。今回は「DV被害の経験があるか、ないか」の質問項目を設け、「ある」と回答した方へどういった被害があるかという調査方法だったが、前は被害の経験を聞きその回答が「全くない」、「無回答」であるものを「DV被害の経験なし」とした。その質問の違いで誤差が生じたと考える。相談件数については増加しているという結果が出ている。
  - 議題(2) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン中間見直し 素案について  
○事務局から資料2に基づき説明  
<委員>  
資料2の1ページの(4)SDGsについて、文章中にある「17の目

標のうち、目標5「ジェンダー平等の実現」の達成を図ります。」とあるが、この目標以外にも男女共同参画について触れられている。次回のプラン改正時は2028年になるため、SDGsを達成する年に近くなるが、他市町のプランにも導入されているため、参考にしてもらえればと思う。

<委員>

資料の1-2に戻るが132ページから始まる自由回答を読み、男女共同参画に対する受け止め方や理解度は個々に異なることを感じた。なぜ異なるのか考えたところ、資料2の1ページの(3)の文章中にもある「第5次男女共同参画基本計画」を読むと、多様性について追加されるなど、社会情勢に対応して計画の項目が増えており、第3次男女共同参画基本計画では、「男性と子ども」についての内容が追加されている。今までの計画の流れを把握していると「男性・女性」と区別することに違和感をそれほど感じないが、第5次の計画だけ読むとなぜ男性・女性を区別するのかと思う人が多くいる。

男女共同参画の根本には「人権」があり、この言葉の意味には、女性の人権が無視されたり、自分らしく生きられない社会を無くすよう、女性も男性と平等に活躍できるような社会にしようという意味が込められている。近年の社会情勢だけでなく、これまでの「男女共同参画」について把握すると、男性・女性の区別や多様性の重要性を理解できるのではないかと思う。次の議題にも触れるが、資料3にある北名古屋市の将来像について、「男女」が「ひと」と記載されているのは多様性を尊重していないのではないか」という意見がでていたため、このことについて検討しなければならないと思った。

<委員>

資料2の20ページから記載してある数値目標の中間達成度について、基本目標6の特定健康診査の受診率や検診の受診率の実績値が低くなっているがそれはなぜか。

<事務局>

担当課である健康課へ確認しなければ分からないが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり検診へ行くことをためらう人もいたからではないかと思う。

議題(3) 第2次北名古屋市男女共同参画プラン中間見直しに伴う市民意識調査について

○事務局から資料3に基づき説明

<事務局>

スポーツ課よりいただいた意見の第2次北名古屋市男女共同参画プランの将来像について、この場でどうするか検討したいと思うため意見をいただきたい。

<委員>

「男女」を「ひと」とすることについて反対ではない。LGBT

であっても、社会では男性・女性と扱われるため、性別を無くすことはできない。第2次北名古屋市男女共同参画プランは男女共同参画社会基本法に基づいて作られるプランであるため、性別を無視したプランになると男女共同参画という意味がずれてくるのではないかと思う。性別の課題をクリアにして平等な社会を目指すことが必要である。

<事務局>

将来像について、「ひと」を「男女」と表記することは、男女共同参画の意味を表す手段の一つであると思う。また、中間見直しというタイミングでもあるため将来像を大きく変更はしないと考えるがいかがか。

<委員>

若い人には平等感が広がっている。「男女」の差別は無用だが、共同区別は必要であるため「男女」を「ひと」とすることは賛成である。

<先生>

学生が回答した男女の平等感の調査結果から、平等と回答する人は多い。しかし、社会へ進出すると男女の平等感の壁にぶつかることがあるため、性別の区別を示していかなければならない。

<会長>

将来像については変更無しとする。

議題(4) その他

○事務局から連絡事項に基づき説明

<閉会 午後4時30分>